# 令和４年度の旭川市役所の事務事業による温室効果ガス総排出量について

旭川市環境部

## 1　旭川市の事務事業により発生した温室効果ガス総排出量

● 令和４年度の温室効果ガス総排出量は，95,122.0 t-$CO_2$ となり，前年度比-0.3％となりました。

（単位 t-$CO_2$）

| | 令和４年度 | 令和３年度 |
|---|---|---|
| 揮発油・灯油 | 4,202.7 | 4,326.4 |
| 軽油・A 重油 | 15,804.0 | 14,257.3 |
| LP ガス | 67.9 | 64.3 |
| 都市ガス・天然ガス | 10,220.9 | 11,479.0 |
| 電気 | 32,013.3 | 32,645.7 |
| 廃棄物の焼却 | 12,387.7 | 11,588.1 |
| 廃棄物の埋立 | 5,683.5 | 5,857.9 |
| 麻酔ガス | 0.0 | 0.0 |
| 下水処理（汚水処理） | 3,404.7 | 3,299.5 |
| 下水処理（汚泥焼却） | 9,528.6 | 9,833.6 |
| 家畜（市営牧場） | 98.2 | 98.3 |
| 公用車 | 1,710.5 | 1,917.4 |
| 合計 | 95,122.0 | 95,367.5 |
| 前年度比 | -0.3％ | ― |

## 2　主な増減要素と分析

● 全体としては，温室効果ガス排出量はいずれの項目もほぼ前年と同様でした。

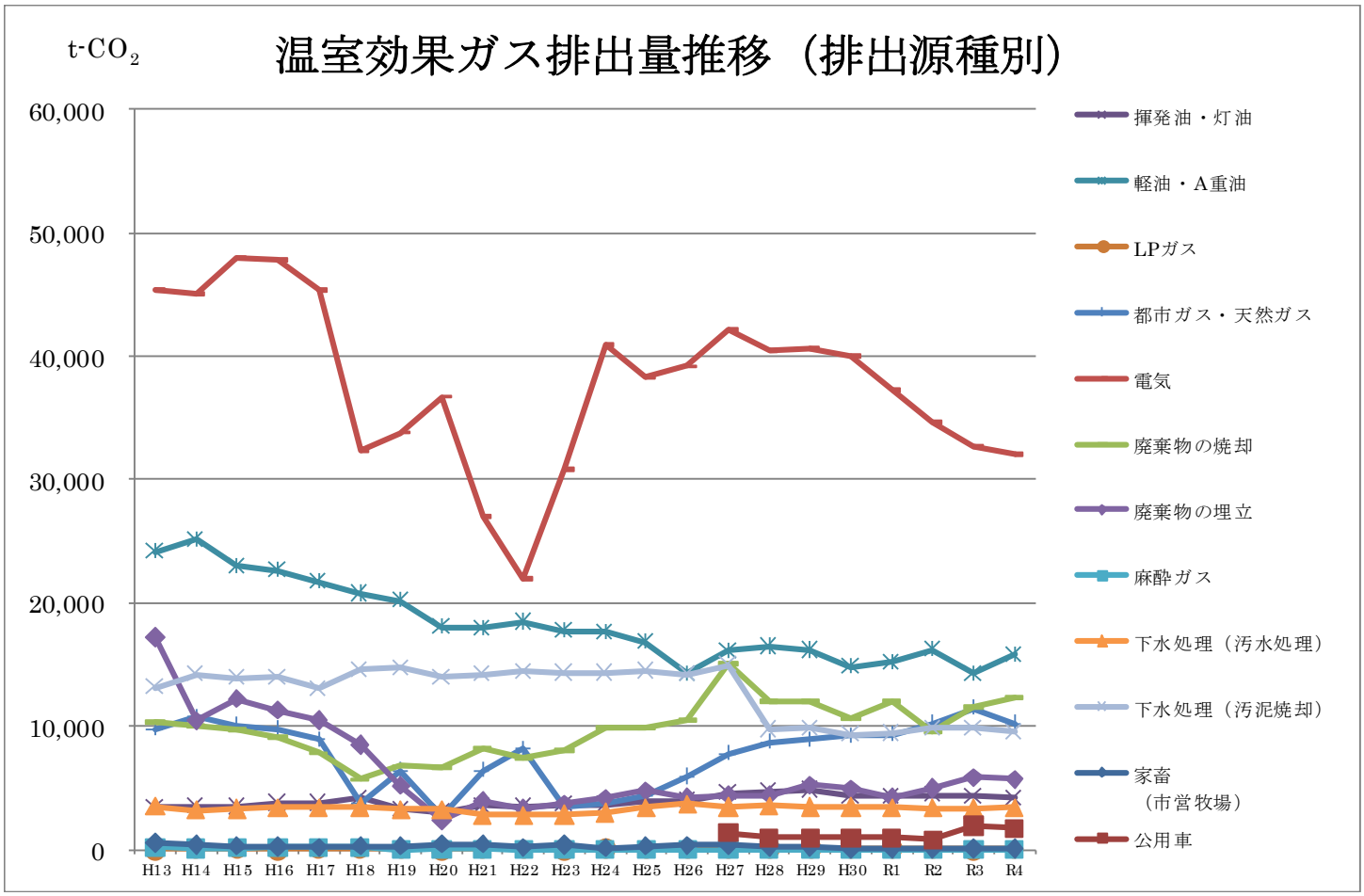
● 軽油・A 重油については，使用量が増加したことから，温室効果ガス排出量が増加しました。

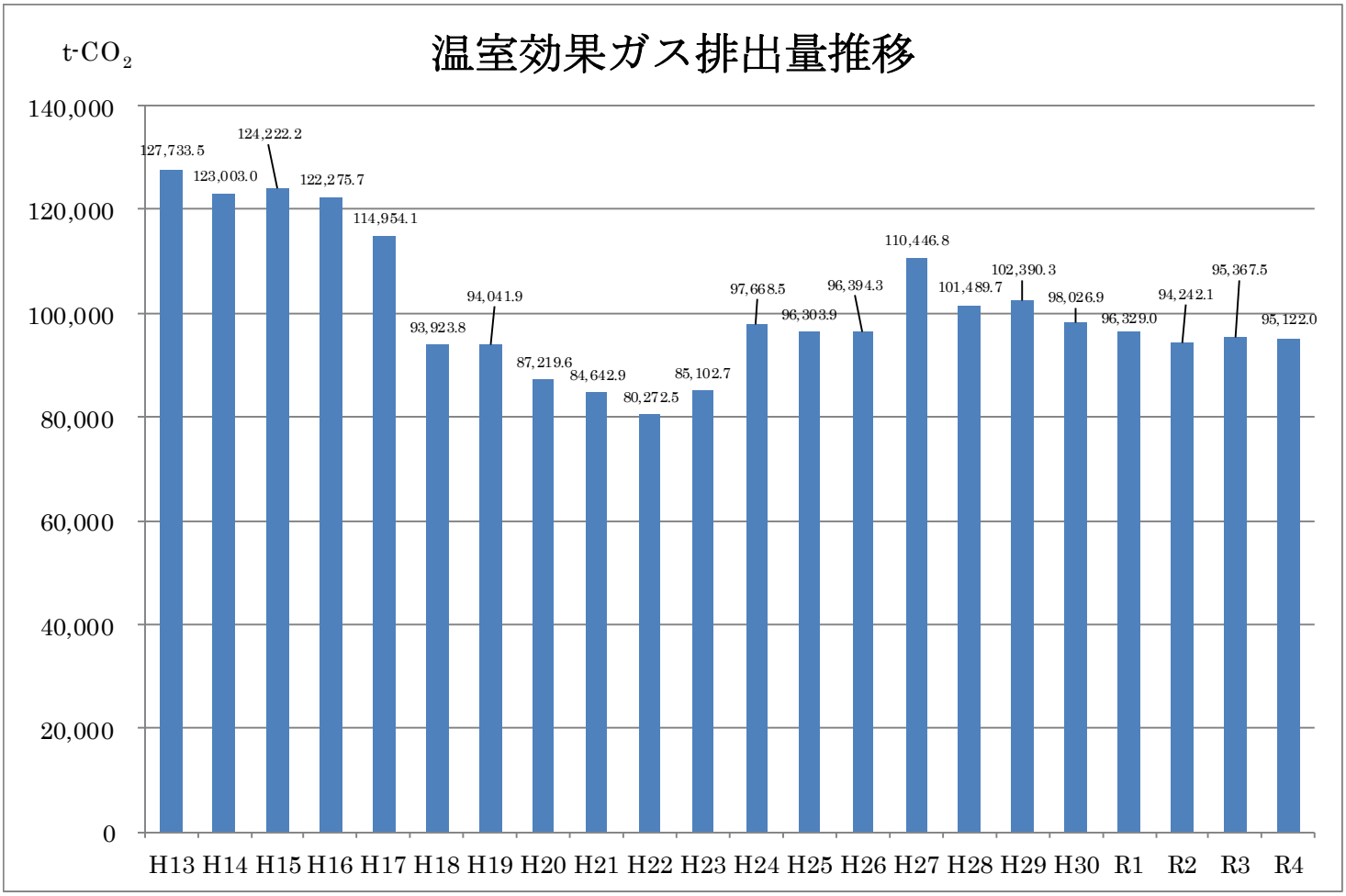
● 都市ガス･天然ガスについては，使用量が減少したことから，温室効果ガス排出量が減少しました。

● 廃棄物の焼却については，近文清掃工場に搬入された廃棄物量が増加し，処理が増えたことから，温室効果ガス排出量が増加しました。

● 廃棄物の埋立については，廃棄物処分場に搬入された廃棄物量が減少したことから，温室効果ガス排出量が減少しました。

● 公用車については，燃料使用量が減少したため，温室効果ガス排出量が減少しました。


温室効果ガス排出量推移（排出源種別）
t-CO2
60,000
50,000
40,000
30,000
20,000
10,000
0
H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4
揮発油・灯油
軽油・A重油
LPガス
都市ガス・天然ガス
電気
廃棄物の焼却
廃棄物の埋立
麻酔ガス
下水処理（汚水処理）
下水処理（汚泥焼却）
家畜（市営牧場）
公用車


温室効果ガス排出量推移
t-CO2
140,000
120,000
100,000
80,000
60,000
40,000
20,000
0
127,733.5
123,003.0
124,222.2
122,275.7
114,954.1
93,923.8
94,041.9
87,219.6
84,642.9
80,272.5
85,102.7
97,668.5
96,303.9
96,394.3
110,446.8
101,489.7
102,390.3
98,026.9
96,329.0
94,242.1
95,367.5
95,122.0
H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4